

2017年3月期 決算説明会

2017年5月

蛇の目マシン工業株式会社

当期

最優先課題：10年ぶりの復配

達成

- 円高で売上減も、純利益増
- ロシア底打ち、回復基調
- ロボット・プレス事業売上高好調（歴代2位）
販売台数：プレス過去最高、ロボット歴代2位
- ✗ 2期連続のミシン販売台数・売上高減少
- ✗ Brexitによるポンド安で英国苦戦
- ✗ 米国大統領選挙の影響でクリスマス商戦（3Q）盛り上がりせず

次期

最優先課題：継続配当 売上増

業績の概要

為替逆風に苦しんだものの、機種構成の変化、コスト削減により営業利益は微増。

(百万円)	16/3期	17/3期	増減
売上高	42,661	38,855	△3,805
売上原価 [売上原価率]	24,962 58.5%	22,050 56.7%	△2,911 1.8P減
営業利益 [営業利益率]	2,466 5.8%	2,477 6.4%	10 0.6P増
経常利益 [経常利益率]	2,646 6.2%	2,137 5.5%	△509 0.7P減
当期純利益	1,548	1,607	58
為替レート (対米ドル)	120.13円	108.42円	△11.71円

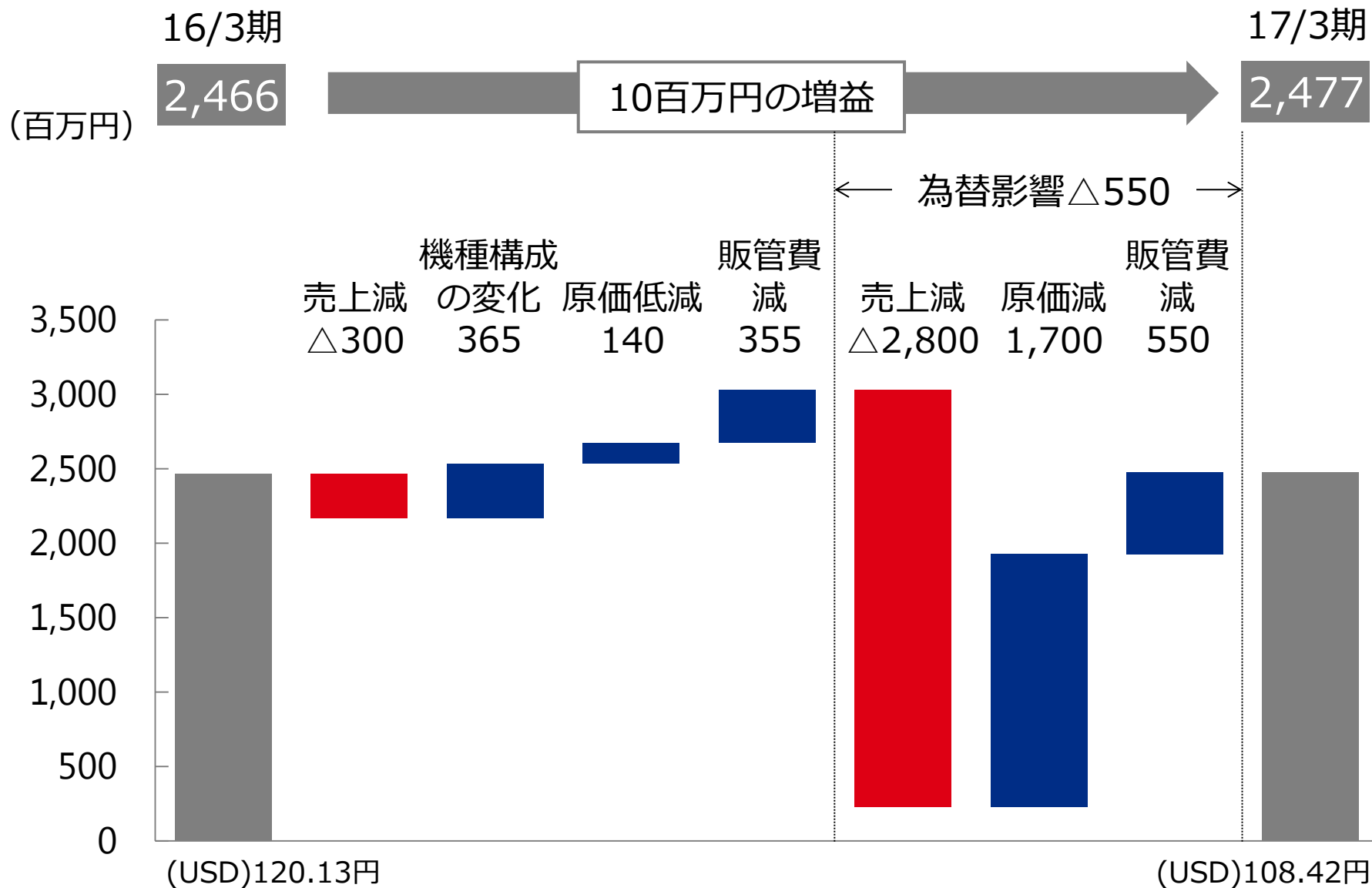
- ◇ミシン事業
 - ・北米・欧州は苦戦
 - ・ロシア底打ち
- ◇産業機器事業
 - ・ロボット、プレスは堅調に推移
 - ・ダイカスト事業は苦戦
- ◇IT(ジャノメクレディア)は好調

- ◇営業外
為替差損計上 287百万円
(前期) 151百万円益
(前期比：△438百万円)

- ◇法人税等
繰延税金資産の見直し等による法人税調整額の戻り
△256百万円

営業利益の増減要因

為替の影響を機種構成の変化、コスト削減でカバーし、営業利益は増益となった。



事業セグメント別業績

家庭用機器事業: 減収増益、産業機器事業: 増収減益、その他事業: 増収増益

(百万円)

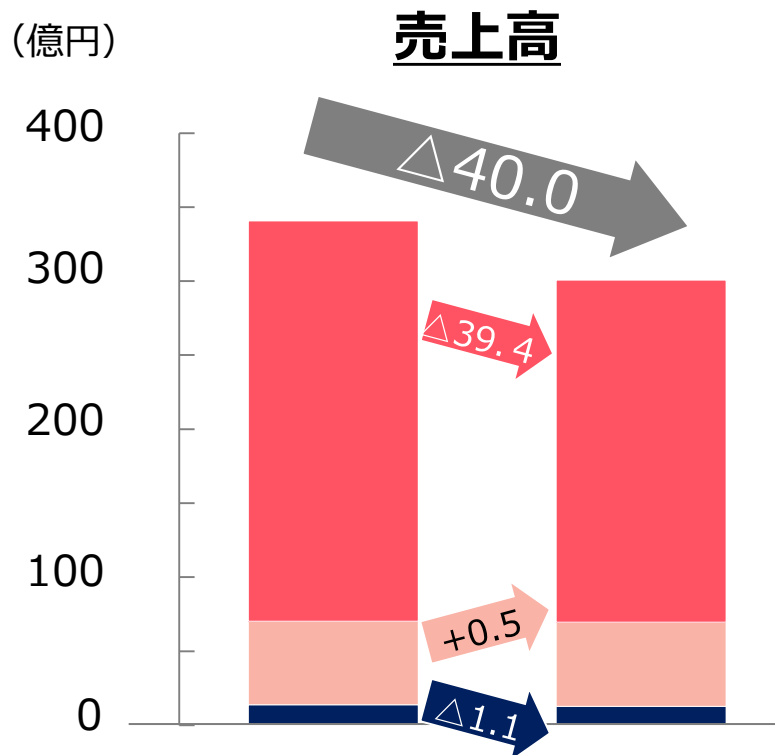
		16/3期	17/3期	増減
家庭用機器	売上高	34,073 (79.9%)	30,073 (77.4%)	△4,000 (2.5P減)
	営業利益	1,912	1,916	4
産業機器	売上高	5,828 (13.7%)	5,919 (15.2%)	91 (1.6P増)
	営業利益	460	394	△66
その他	売上高	2,758 (6.4%)	2,861 (7.4%)	102 (0.9P増)
	営業利益	44	115	70
合計	売上高	42,661	38,855	△3,805
	営業利益	2,466	2,477	10

※営業利益合計数字にはセグメント間取引消去を反映

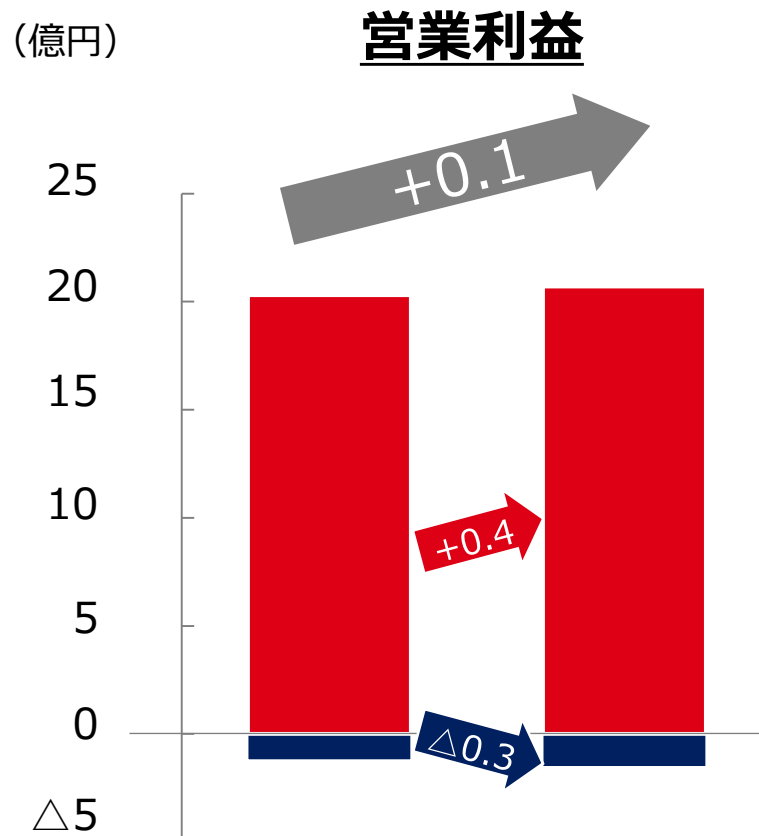
セグメント別売上高・営業利益【家庭用機器】

JANOME

海外ミシン売上高前期比減、国内ミシン売上高微増、ミシン全体営業利益は横ばい。



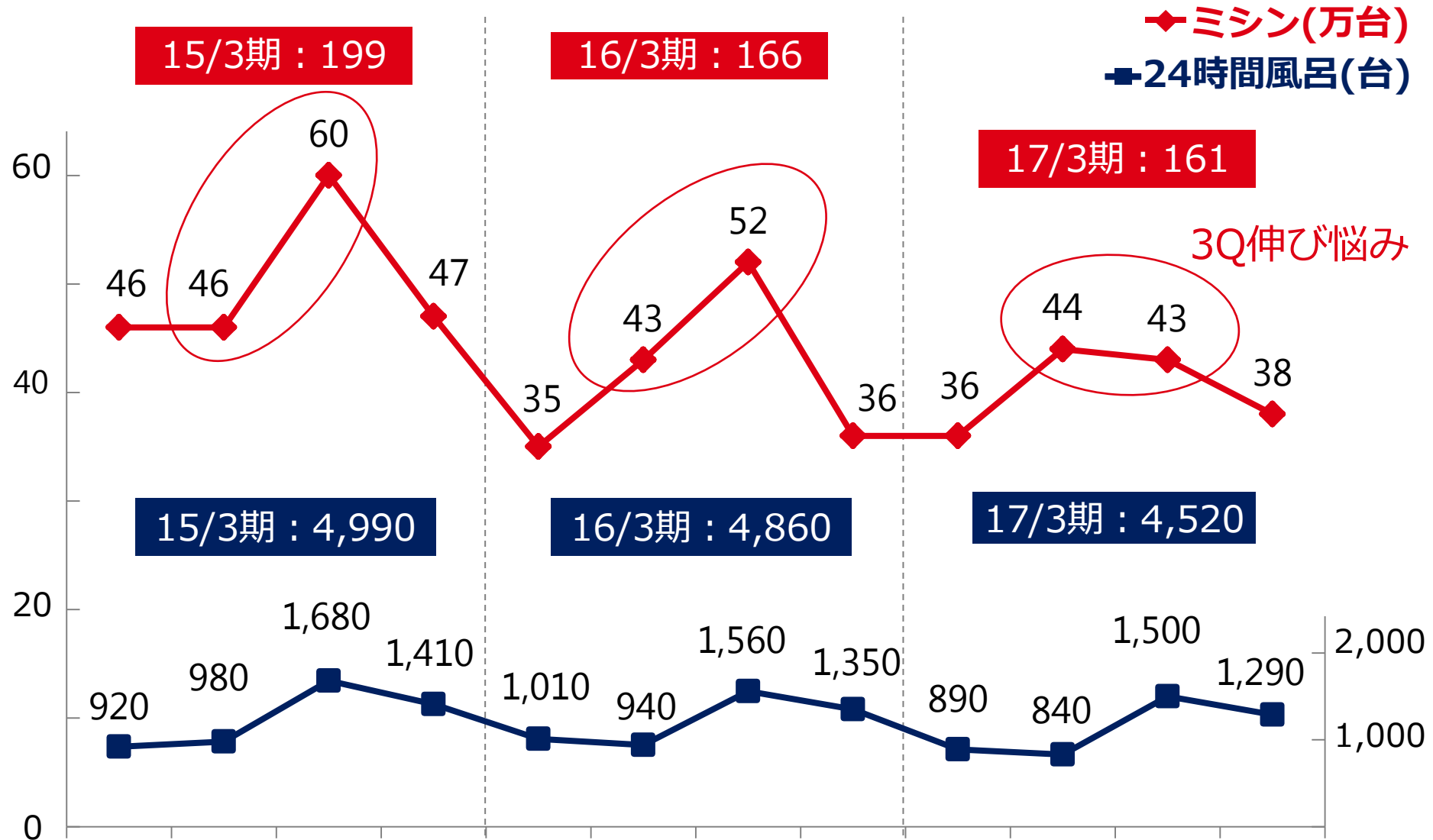
	16/3期	17/3期
海外ミシン	269.9	230.5
国内ミシン	56.9	57.4
24風呂	13.9	12.8
合計	340.7	300.7



	16/3期	17/3期
ミシン	20.3	20.7
24風呂	△1.2	△1.5
合計	19.1	19.2

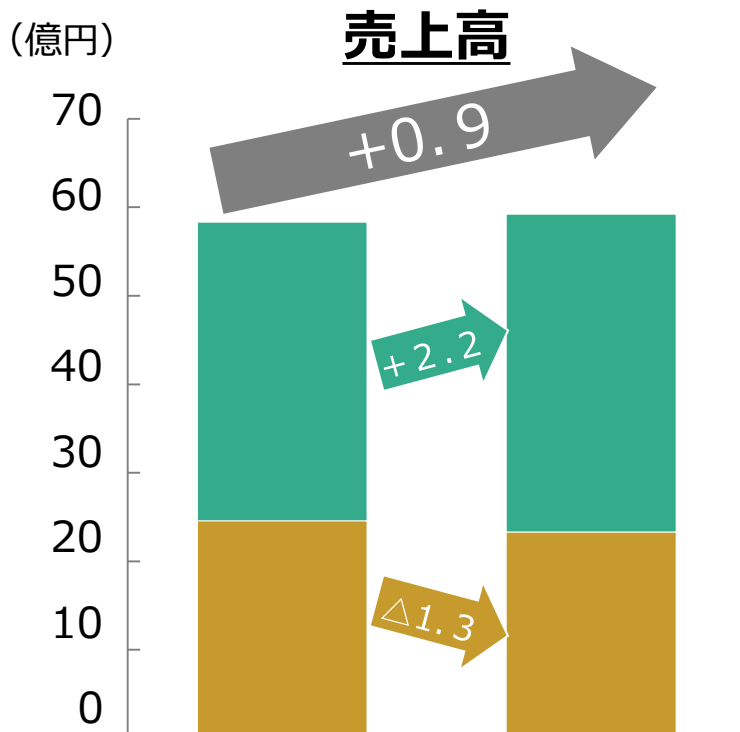
販売台数四半期推移【家庭用機器】

マシン販売台数 前期比 $\Delta 4$ 万台 …最盛期3Qに欧米で伸び悩み

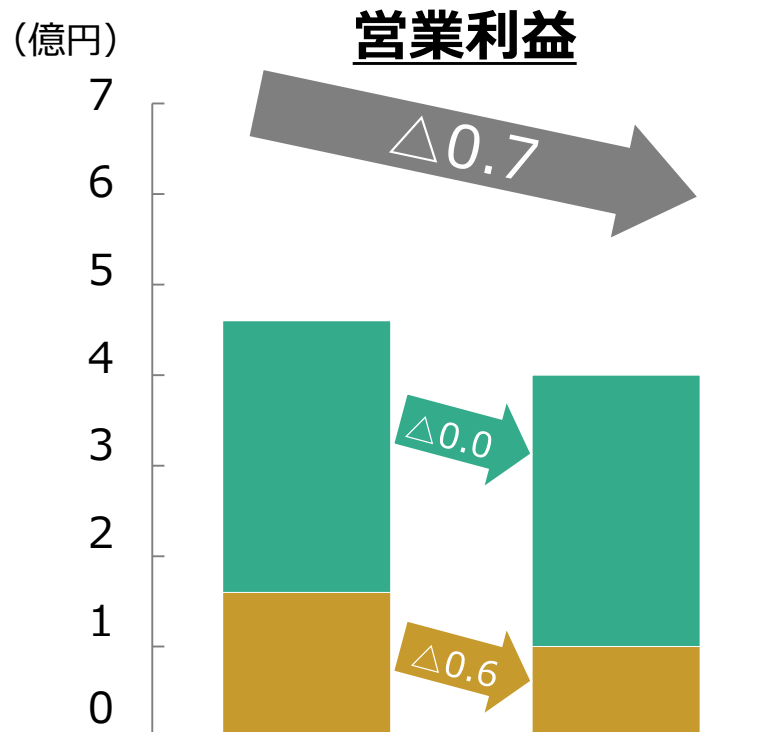


セグメント別売上高・営業利益【産業機器】

前期好調のダイカスト事業が、主要取引先業界の製品端境期に伴い減収・減益



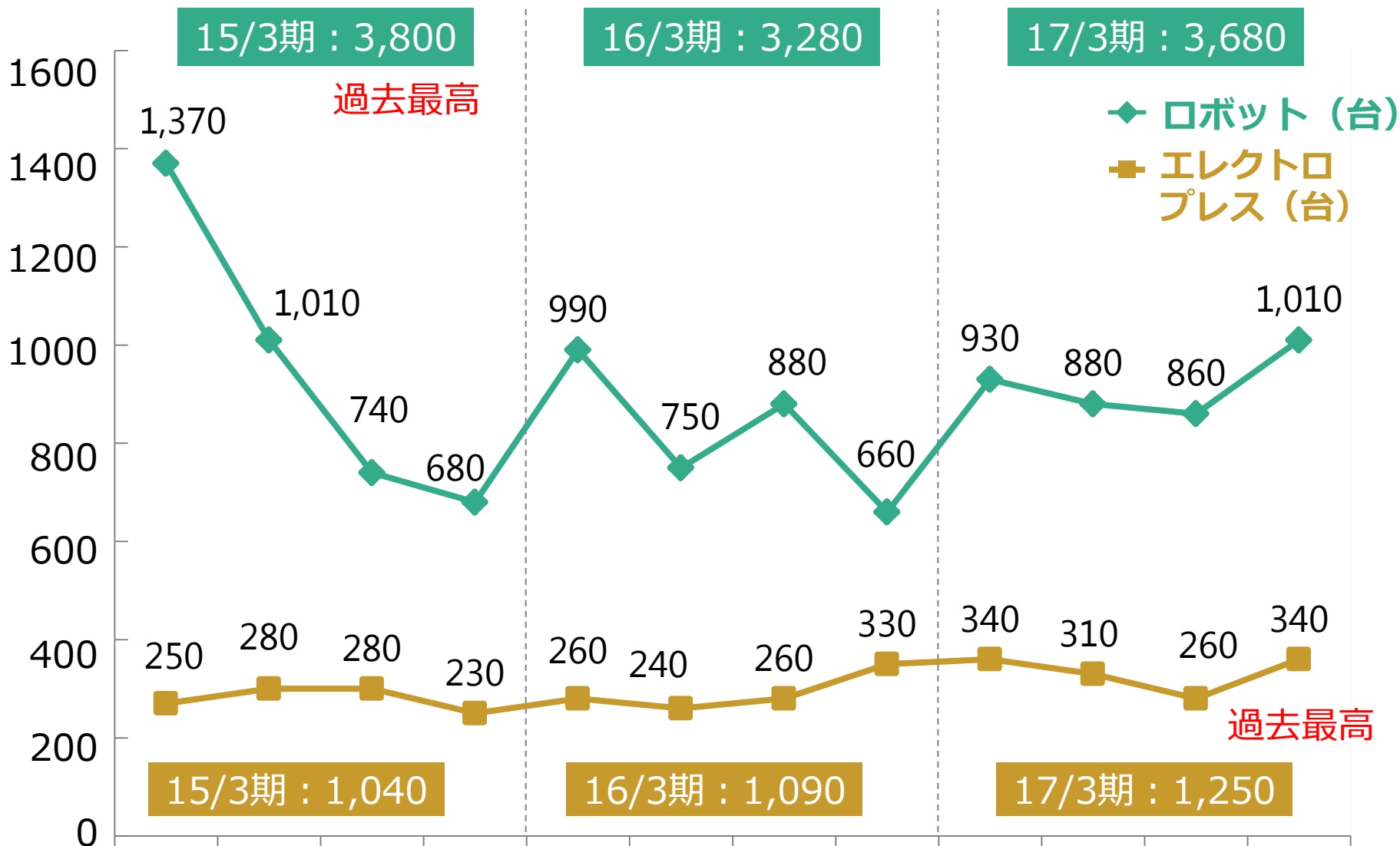
	16/3期	17/3期
■ ロボット・プレス・その他	33.7	35.9
■ ダイカスト	24.6	23.3
合計	58.3	59.2



	16/3期	17/3期
■ ロボット・プレス・その他	3.0	3.0
■ ダイカスト	1.6	1.0
合計	4.6	4.0

販売台数四半期推移【ロボット・プレス】

ロボット:地力が付き緩やかに成長中、特需は無し。プレス:過去最高販売台数更新



2018年3月期通期予想

増収増益（17/3期:繰延税金資産見直し）

(百万円)	17/3期 実績	18/3期 予想	増減
売上高	38,855	40,000	1,145
営業利益 [営業利益率]	2,477 6.4%	2,700 6.8%	223 0.4P増
経常利益 [経常利益率]	2,137 5.5%	2,600 6.5%	463 1.0P増
当期純利益	1,607	1,800	193
為替レート (対米ドル)	108.42円	110.00円	1.58円

蛇の目ミシン工業株式会社

本資料で記述されている計画・予測等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。
そのため、今後、市場や為替レートの変動などを含む様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2017年3月期 決算説明会
2017年5月17日